

新たな100年の始まり

第9グループ(室蘭、伊達、室蘭東、室蘭北、登別、洞爺湖の6クラブ)合同で、会員と家族を中心とした同伴夜間例会が首題をテーマに、2005年2月23日(水) 室蘭中嶋神社蓬岨殿で開催された。

ガバナー夫妻を始め、ご招待の交換留学生、室蘭大谷インターアクト、登別大谷インターアクト、室蘭北クラブローターアクト、米山奨学生、財団学友会の皆さんと、会員家族のお子さんなど250名以上参加されました。

遠藤ガバナーは、ロータリー100年の歴史と現在の状況を詳しくお話され、奉仕の原点を改めて認識する場でありました。後半は、各クラブごと多種多彩な出し物のイベントを催して、まさしく「ロータリーを祝おう」の趣旨に相応しい一時を、皆さんといっしょに共有しました。



登別RC・いい湯だな!



ガバナーのお話



米山奨学生の皆さん



家族と
お子さんへの余興



遠藤ガバナー、鈴木ガバナー補佐、伊奈代表幹事と各会長の鏡割り

各グループ、各RCでの「ロータリー誕生100年を祝おう」に因んだ思い出に残る行事や、活動の記事をお寄せ下さい。4月号より本文に掲載します。

Gガバナー's レターOVERNOR'S LETTER

- 奉仕と感謝 -

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄



この原稿を書いている昨今、予想するしかありませんが、記念すべき2月23日には地区内のすべてのクラブが何らかのアクションを起こし、盛大なロータリーを祝って頂けたと思います。ロータリー100周年の節

目の年にロータリアンでいられる機会を幸せに思うと共にロータリーの将来を考えると身の引き締まる思いがいたします。

2月23日は丁度国際大会の最中であり、既に次年度カール・ウイヘルム・ステンハマーRI会長エレクトからテーマが発表されていることと思います。3月からは今年度の事業遂行と平行して次年度の研修行事が行われ、地区にとっても、クラブにとっても緊張の走る時期でもあります。しかし考えてみるとこの一連の行事は100年近く毎年くり返されているのでありますが、常に新鮮に思えるのは不思議なことであり、ロータリーの魅力でしょうか。

グレン・E・エステスRI会長は、当たり前のこととして、長く取りあげられなかった職業奉仕を強調しておられます。今、世の中で段々希薄になりつつあるが、感謝の気持ちではないでしょうか。ロータリアンにとっても親睦にせよ、奉仕にせよ、その行為によって自分も満足する、そして幸せになれる気持ちが大切だと思います。ロータリーの2つの標語や4つのテーマが絵空事になっては大変です。100周年にあたり、

次ぎのステップに向かって今一度全員がこころして頂く課題だと思います

同じ奉仕活動でも汗をかく活動は目に見えて判り易いのですが、財団への寄附となると相手が見ず知らずの場合が多く、躊躇しがちですが、間違いなく我々が想像を絶するような困窮にあえいでいる人達が対象です。地球上のどこかで手を合わせている人達を想像すれば、素直に協力する気になるかもしれません。寄附も大小ではなくすべてのロータリアンの心がこもったものこそ、その価値があるのだと思います。目に見える奉仕活動といえば、公式訪問で各クラブが地域社会に対して、特に青少年を対象に活発な活動をしておられることを知り大変意を強くいたしました。各クラブの日頃の奉仕活動に感謝いたします。ロータリーは単年制でありながら継続した活動が各々の地域社会の中に刻み込まれていることにロータリークラブの存在価値を再認識致しました。

今年度も残り4ヶ月となりましたが、やり残しの無いよう頑張ってお参りたいものです。

津波の義援金(ロータリーあつかい方)の1月28日付け集計が日本事務局財団室から届きました。1ヶ月弱で43,728,500円とDDF50,000ドルでD・2510地区は2,582,300円でした。ご協力有り難うございました。復興支援はこれからが本番ですから今後とも御協力をお願い致します。

ガバナー日記

1月14日(金)第9回地区幹事会

1月23日開催のガバナー補佐会議の最終打ち合わせ。

4月29日・30日開催のR I会長御夫妻歓迎晩餐会と本会議への登録お願いを2月号の月信に再掲載する。

4月15日・16日開催の韓国3700地区年次大会の参加については別紙で各クラブをお願いをする。

新旧ガバナー補佐及び各委員会の引継会議の日程案、2005年6月12日(日)札幌グランドホテルで行うことで了解。

6月19日～22日シカゴで開催の100周年記念国際大会参加については3月号月信で再度よびかける。

ロータリー平和センターは関東6地区がホストエリア地区として支えてきたが資金面で困難となり今年度から各会員1人15円の負担となる。当地区として47,040円なので地区資金から出す。

1月22日(土)補助金委員会、15:00～16:30 札幌ルネッサンスホテル

2003～04年度後期8プロジェクトが完了した。04～05年度分6プロジェクトが実施されている。

小口マッチング・グラント(2,000ドル以下)のプロジェクトとしてトルコ・タクシンRCから識字率向上の為に語学講座を9コース開設し135～180人が学習する計画がある。D.2510からの参加クラブを希望している。両クラブ1,000ドルずつとR財団から1,000ドルの合計3,000ドルのプロジェクトである。ガバナー補佐会議で御説明、手をあげてくれるクラブに協力をしていただく予定。

札幌南RC40周年記念式典が17:00からルネッサンスホテルで開催された。札幌市副市長の田中賢龍様の祝辞もあり、札幌在住のバスター・ガバナーの大勢の御出席や第5グループは勿論のこと、第4グループからも、小山ガバナー補佐をはじめ各クラブ会長や幹事

の方々の御出席があり大変盛大であった。祝賀会にはシンガーソングライター吉田佳代さんの歌でなごみ、お楽しみ抽選会ではガバナーの私まで当たり“八百長臭い”の声もあったが、ご愛嬌とおゆるし戴きたい。本日に先立ち記念ゴルフ大会、囲碁大会も行われたが、昨年11月に記念フォーラム“恵まれない子供達(特に児童虐待)への理解と支援”がコンベンションセンターで盛大に開かれ市民の関心を呼んだことはロータリー100周年にとっても意義ある事業であったと思う。

1月23日(日)第2回ガバナー補佐会議が11:00～15:00 ホテルサンルート室蘭で開催。

12名のガバナー補佐の皆さんから04～05年度上期活動報告と下期活動計画について詳細に御意見を頂いた。内容は2月号、3月号の月信に掲載される。

ガバナー要請案件はロータリー財団年次寄附で上期1人40.99ドルであり、6月末に100ドル達成に努力して欲しいこと ポリオ・プラス寄附は上期1人11.71ドル、2年半集計で1人60.74ドルであり、既に150ドル達成しているクラブが5クラブあるのに対し、全く寄付金が届いていないクラブが14。1人50ドル未満のクラブは16ある。一歩でも二歩でも目標額に近づけて欲しい。

米山奨学資金についても1人あたり6,020円で34地区中、24番目であること。トルコ・タクシンRCとのマッチング・グラントに協力してくれるクラブの要請をお願いした。4月30日東京で行われるR I会長主催会議及び6月18日～22日開催100周年記念国際大会への参加について各クラブに働きかけて頂くようお願いをした。

No. 20

Date 05. 3. 1

1月25日(火)ガバナー諮問委員会及びガバナー・エレクト壮行会

ガバナー・ノミニー決定について

指名委員会で推挙頂いた丸山淳士会員(札幌真駒内RC)は数日中にクラブ総会で了解頂き、地区内クラブに決定宣言をする予定であることを報告。

1月23日にガバナー補佐会議を行い、全クラブの活動報告及び活動計画を示していただいたことを報告。韓国3700地区・地区大会が4月15日・16日テグ(大邱)で開催予定、参加者を募っている。

シカゴ国際大会参加状況として、地区スケジュールによる参加者42名

RI会長主催祝賀会議参加のお願い

その後、塚原房樹ガバナー・エレクト御夫妻が国際協議会参加の壮行会が行なわれた。伊藤義郎氏、佐藤秀雄氏は欠席されたが、参加されたパスト・ガバナーから各々激励の言葉が述べられた。

1月28日(金)～1月29日(土)第2590地区・地区大会が横浜みなとみらい・パシフィコ横浜で開催され、夫婦で参加した。10月の当地区大会に藤林ガバナー御夫妻で出席頂いたので返礼の目的もあったが時期と場所が丁度良かったのか同期のガバナーが大勢見えられていた。RI会



長代理は重田政信RI理事エレクト御夫妻が努められた。特別講演は当地区と全く同じく松島トモ子氏であった。

大会運営は都会らしくスマートにまとめられておられ、2日目午前中は横浜中華街の散策後、おいしい中華料理をご馳走になった。

1月30日(日)オーストラリア受入交換学生歓迎会がNTTセミナーセンターで行われた。午前中から青少年交換委員会により委員会、受入学生オリエンテーション、派遣学生オリエンテーション、受入関係者懇談会等が開催されていた。オーストラリア留学生は1月から1年間モリーさん(札幌はまなすRC)、ブリーさん(札幌手稲RC)、リアンさん(札幌西RC)、レベッカさん(札幌南RC)が来道され、学業と国際親善に専念されることになる。ホストファミリーも気遣いが大変だと思われるが、お互いにエンジョイして頂きたい。現在受入れているステーシィさん、セニアさん、イアンさん、エバさんは日本語も上手になり友達もできたようで、明るい雰囲気であった。8月に帰国予定である。



05～06年度長期派遣候補学生8人も出席しておられた。歓迎会は地区委員、受入関係者、ローテックス4名の参加もあり、全員の紹介からパフォーマンス、北海盆踊り、最後は「手に手つないで」で締めくくる大変楽しい会であった。これからの若い世代の人達の活躍が楽しみである。



2月5日(土)小樽南RC創立45周年記念式典祝賀会が小樽グランドホテルで行われた。参加者は全員ロータリアンで第6グループ関ガバナー補佐をはじめ各クラブ会長、幹事さん、姉妹クラブ酒田RC、横浜中RCの会員も出席しておられた。記念事業はブックスタート事業への参加協力であり、記念講演会では、「子どもの本の必要性 なぜ今ブックスタートなのか」が開催された。幼児期から図書に親しみ、心ゆたかな育成を願った思いがこめられている。祝賀会は琴アンサンブルのなつかしい音色の流れる中大変なごやかな雰囲気です時を忘れた。

2月8日(火)第10回地区幹事会

ガバナー・エレクト事務所費とガバナー事務所費の上半期の収支が示された。これまでも節約を重ねてきたが、下期についても気の抜けない状態が続きそうである。これが

らは次期研修会が次々に開かれ、今年度事業と平行して行われることになる。そろそろ地区要覧の発刊に向けて、準備に入る必要がある。財務委員会も年度末の地区大会収支報告に向けて、チェック体制に入る必要がある事が話し合われた。

2月13日(日)第25回札幌国際スキーマラソン

札幌ドームに集合、9時から距離の長い方からスタート。ロータリー組は9時30分に5kmコースに挑戦、留学生、帰国学生が大勢参加したが、オーストラリアからの留学生の中には初めてスキーを履く人もいて、少し不安をおぼえたが、野澤さんや前新世代委員長の奥貫さんも元気にスタートして行かれたので安心して堀田さんや宮崎さんと一緒にお見送り。小雪の舞うあまり良いコンディションではなかったが、無事完走するとジンギスカン・パーティーが待っているの自国の国旗を背負ったり、リラックスモードで賑やかにスタートして行かれた。札幌ドームとスタート地点が遠いには閉口した。



ガバナー・ノミネー決定宣言

2005年1月28日

国際ロータリー第2510地区
各ロータリークラブ会長 様

国際ロータリー第2510地区
ガバナー 遠藤 秀雄

2006～2007年度国際ロータリー第2510地区ガバナー・ノミネーの選出については、地区ガバナー指名委員によって、丸山淳士君（札幌真駒内RC）が選出された旨、報告を受けました。

国際ロータリー細則第13条第2節（13.020.）に基づき、丸山淳士君を2006～2007年度第2510地区ガバナー・ノミネーとすることを決定し、ここに宣言致します。



2006～2007年度 国際ロータリー第2510地区
ガバナー・ノミネー

会 員 名 丸 山 淳 士（札幌真駒内RC）

生 年 月 日 昭和13（1938）年3月26日生まれ

住 所 札幌市中央区南2条西28丁目3番15号

職 業 分 類 病院

事 業 所 名 医療法人社団 五輪橋産科婦人科小児科病院

住 所 札幌市南区川沿2条1丁目2番55号

入会年月日 1995年7月5日

【学歴】

1964年3月 札幌医科大学医学部医学科 卒業

1965年4月 医師免許取得

日本産科婦人科学会専門医

1972年 札幌医科大学学位取得 医学博士

【職歴】

1972年7月 道立江差病院産婦人科勤務

1978年5月 国家公務員共済組合連合会

斗南病院勤務

1980年12月 五輪橋産科婦人科小児科病院開業

1998年10月 医療法人設立 理事長就任

【主な公職】

北海道医師会代議員

母体保護法指定医師審査委員

札幌市医師会医事紛争処理委員会委員

日本産科婦人科学会代議員

北海道地方部会理事

専門医制度委員会委員

日本産婦人科理事

【ロータリー歴】

1995年7月 札幌真駒内RC入会

1999年～2000年 札幌真駒内RC会長

2002年～2003年 地区広報委員会委員

2003年～2004年 地区広報委員会委員長

2004年～2005年 第5グループガバナー補佐
ポール・ハリス・フェロー 米山功労者

3月是世界ローターアクト週間です



ローターアクト週間に因んで

ローターアクト委員会

委員長 柳

孝 一（札幌幌南）

3月13日は「世界ローターアクトデー」でその週の月曜日から日曜日まで「世界ローターアクト週間」です。今年は3月7日から13日までの一週間です。

2004年1月のローターアクトニュースから抜粋です。

「世界ローターアクト週間」を祝う機会を逃がさないでください。世界中のローターアクトクラブは、提唱ロータリークラブと共に、最初に結成されたローターアクトクラブを祝うよう奨励されます。ローターアクターは、このプログラムに対する地域社会の認識を高めるため、下記の活動に参加するとよいでしょう。

ローターアクトクラブを提唱していないロータリークラブに、ローターアクトに関する卓話をする

ローターアクトクラブの会合にロータリアンを招く
ロータリークラブの会合にローターアクターを招いてもらう

ロータリーとローターアクトの共同プロジェクトを実施する
とあります。

「ローターアクトクラブとロータリークラブの皆さんは、このプログラムを是非実行してください。」というお願いで、地区委員会の職務は全うできますが、地区内の現状を紹介しながら、RA週間に因みたいと

思います。

世界のロータリアン約122万人、2510地区約3,200人。世界のローターアクター約176,000人、2510地区のローターアクター約100人（10クラブ）です。世界基準でアクターの人数を算出すると440人でなければなりません。人数だけみると2510地区は世界水準ではないということが言えます。

ロータリークラブとローターアクトクラブの関係をわかりやすく表現すると「親」と「子」です。「子」を増やすのは「親」の仕事です。少子化が進んでいますが、ロータリーだけは歯止めをかけたいところです。

今年度、地区委員会の活動計画にローターアクトを地区内ロータリアンに知ってもらおうということを掲げました。まだまだPR活動は足りません。この機会にローターアクトのホームページをご覧いただき、提唱クラブの会員の皆さんはもちろんですが、提唱クラブ以外のロータリアンにも是非アクト新会員を推薦下さるようお願いいたします。

ホームページは地区ホームページのリンクからアクセス下さい。

ガバナー補佐会議報告

～グループ別各クラブの活動報告・計画～

2005年1月23日 ホテルサンルート室蘭にて開催

第7グループ



ガバナー補佐
大谷 恵一
(北広島)

上期地区ガバナー補佐活動報告書

会長・幹事会の開催について
開催日 出席人数 議題・質疑等について
平成16年6月30日 13人 100周年
記念事業、クラブ訪問、活動計画書
etc
平成16年9月22日 13人 ガバナー
公式訪問、地区大会、人頭分担金、次
期ガバナー補佐
担当グループ特記事項

どのクラブも会員数の減少には苦慮している。第7グループとしては会長・幹事会において、グループ単位での会員増強案を討議していきたい。クラブ訪問して感じた事

良く言えば、各クラブはそれぞれ特徴ある活動・例会を行なっている。悪く言えば、各クラブのレベルに差がある。レベルの底上げにはガバナー補佐の力量が必要と思われる。となれば、伊藤長英地区研修リーダーが言われた様に、ガバナー補佐の選考にはもっと厳しさが要か？

下期地区ガバナー補佐活動計画書

会長・幹事会開催について
開催日 出席人数 議題・質疑等について
平成17年2月 13名 合同例会の打
合わせ、ポリオ・プラス寄付の要請
平成17年5月 26名 新旧引継ぎ
グループ活動計画予定
平成17年2月23日 ローターリー 100
周年記念合同例会

各クラブ活動計画予定

- *千歳RC
ローターアクトクラブの地区大会
(平成17年5月28～29日)
- *恵庭RC
当クラブ創立35周年記念式典
(平成17年3月24日)
- *北広島RC
当クラブ創立25周年記念、
青少年コンサート(平成17年6月4日)
- *長沼RC
新世代会議 (平成17年2～3月)
国際交流フェスティバル
(平成17年5月21日)
- *由仁RC
未定
- *千歳セントラルRC
後日報告

千歳RC活動報告書

- 会員増強について
会員：2004～05年度当初 65名
増強：上期新規会員 4名=69名
退会：転勤者 2名
会員死去 2名
健康上の理由 2名
現在(12月末)=63名
- R財団・米山奨学金への寄付について
R財団：目標\$5,500に対し、
12月末実績=\$5,650
米山奨学会：目標240,000円に対し、
12月末実績=306,500円
- クラブの特徴・問題点等について
会員の減少がクラブ運営に支障をきたしている。
今後の考え方、活性化の必要性(会費の見直し・例会のあり方等)
- 奉仕プロジェクトについて
新世代委員会
第9回小学生写生大会開催(参加者108名)・市内の景勝地である「サケのふるさと館」優秀作品の表彰
(平成16年9月11日)

社会奉仕委員会

- 千歳地区交通安全協会に「交通安全看板」1基 寄贈
国際ロータリー 100周年記念事業として、地域社会との共生を目指して交通安全運動を積極的に推進する。
(平成16年12月9日)
クリスマス家族会開催(参加者170名)。ご家族並びに関係団体をご招待盛大に開催された。
(平成16年12月16日)

環境保全委員会

- 分収造林事業の継続的維持管理
下期の主なクラブ活動
国際ロータリー 100周年記念例会
第7グループ合同例会
(平成17年2月23日)
ローターアクトクラブの地区大会
千歳ローターアクトクラブ主管で開催
「平成17年5月28日(土)～29日(日)」。親クラブとして全面的支援をします。

千歳セントラルRC活動報告書

- 会員増強について
新会員 1名増
R財団・米山奨学金への寄付について
R財団 1名 100ドル寄付達成。
米山については普通寄付
クラブの特徴・問題点等について
会員増強、会員の退会防止について
取り組まなければならない。
奉仕プロジェクトについて
クラブ事業としてフォトコンテスト(秋の部)を開催。タイ(コンケン)へ前年度実施事業の結果視察にクラブより3名出かけた。
下期の主なクラブ計画
フォトコンテストの冬・春・夏の部
実施へ向けて取り組む
15周年記念に向けて取り組む

恵庭RC活動報告書

会員増強について

会員数51名(12月末現在)上期中に1名の入会者がありましたが、残念ながら上半期をもって1名の退会届けが有り、年度当初の同数であります。R財団・米山奨学金への寄付についてR財団

11月の財団月間に、毎年一人当たり100ドル以上の寄付、「財団の友」となる事を働きかけました。下期に集計して送金します。

米山奨学金

会員一人当たり3,000円を目途に働きかけました。下期に集計して送金します。

クラブの特徴・問題点等について クラブの特徴

近年は、社会奉仕、新世代部門で青少年健全育成活動に重点を置いて活動しております。

問題点

会員が高齢化してしまい、奉仕活動も継続事業のみ続けて居る状況であります。永年実施していた、交換留学生派遣も受け入れホームスティ先が難しくなって休止しております。

奉仕プロジェクトについて

平成17年7月、青少年健全育成資金造成バザー実施、中学生対象・少年野球大会の実施

平成17年9月、小学生対象・子ども相撲大会の実施、献血運動実施、日本赤十字社支援

平成17年11月、木の実園に、リンゴの木を植樹

下期の主なクラブ計画

平成17年3月24日、当クラブ創立35周年記念の式典及び祝賀会を開催いたします。現在、地域に貢献する記念事業を検討中であります。

下期は、会員増強及び財団・米山寄金協力活動を推進して行きます。

北広島RC活動報告書

会員増強について

残念ながら増強は出来なかった。

R財団・米山奨学金への寄付についてR財団については年度末に寄付する予定。

米山奨学金へは普通寄付一人1,000

円を行った。

クラブの特徴・問題点等について

やはり会員増強に繋がらなかったことが残念である。下期には何とか今年度の目標を達成したいと思っている。奉仕プロジェクトについて

下期の活動と重複するが創立25周年の記念事業として青少年のためのコンサートの開催を実施する。

下期の主なクラブ計画

25周年記念事業として青少年の為の記念コンサートの実施。

長沼RC活動報告書

会員増強について

18±0 増減なし

R財団・米山奨学金への寄付についてR財団寄付

目標額に達しました。\$2,000 - 米山奨学会

現在寄付を募っている最中です。昨年度に近づく様に努力しております。

ポリオ・プラス

50\$/人×18人分で平成16年12月15日に振り込みました。

下期の主なクラブ計画

平成17年2~3月 新世代会議予定

平成17年5月21日(土)

国際交流フェスティバル実施

由仁RC活動報告書

会員増強について

努力するが結果がでない。

R財団・米山奨学金への寄付について平成16年11月30日送金済です。併せてポリオ・プラスについても送金済です。

クラブの特徴・問題点等について

小クラブながら社会奉仕に一生懸命取り組み、まとまりのあるクラブである。問題点については、会員不足にある。

奉仕プロジェクトについて

1. 軽費老人ホーム緑豊苑そば慰問
2. イルミネーション設置

下期の主なクラブ計画

会員増強と地域奉仕について

第8グループ



ガバナー補佐

蘇田 又 栄

(浦河)

上期ガバナー補佐活動報告書

会長・幹事会の開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について
平成16年4月10日 22名

現・次期会長幹事

2003~04年度 活動報告について

2004~05年度 地区及びグループの取組について

平成16年7月24日 14名

会長・幹事

地区及びグループのスケジュールについて

ガバナー公式訪問・合同例会について

第8グループ運営特別会計について

「おじゃましまーす」例会について

ロータリー創立100周年記念事業について

担当グループ特記事項

平成16年5月15日 ガバナー補佐の任務遂行に協力することを目的に、浦河RC内にガバナー補佐委員会(5名)を設ける。

平成16年7月7~15日 各クラブ訪問(静内RC・三石RC・様似RC・えりもRC)

平成16年7月24日開催の会長・幹事会議において、第8グループとしての奉仕活動等に活用することを目的に、共有財源として特別会計を昨年に引き続き保有することを決定、グループ内ロータリアン一人当たり1,000円徴収運営。

また、昨年に引き続き「おじゃましまーす」例会の開催決定

グループ内5クラブの会長・幹事が各クラブの夜間例会に出席し、親睦・交流を深める。(1~3月)

平成16年7月17日「社会・家庭・子ども奉仕活動に関する合同意見交換会」(苫小牧、第7・8・9・12グループ)に出席、第8グループから8名参加。

ガバナー公式訪問・合同例会の開催

9月28日 浦河ウェリントンホテル(様似RC・えりもRC・浦河RC)
9月29日 静内ウェリントンホテル(三石RC・静内RC)
10月5日 2005～06年度ガバナー補佐推薦 出口弘史氏(三石RC)
10月17日 地区年次大会 登別市第8グループ登録 87名

下期ガバナー補佐活動計画書

会長・幹事会の開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について
平成17年1月29日 12名 会長・幹事
2004～05年度上期活動報告について
2004～05年度下期活動計画について
ロータリー創立100周年記念事業について

平成17年5月24日 22名

現・次期会長幹事

2004～05年度活動報告について
2005～06年度地区及びグループの取組について

グループ活動計画予定

「おじゃましてーす」夜間例会の開催
三石RC 1月17日 味処「友」
静内RC 2月23日
静内ウェリントンホテル
浦河RC 3月15日
優駿ピレッジ「アエル」
様似RC・えりもRC未定
「ガバナー補佐だより」の発行
1月下旬

各クラブ訪問 6月下旬

各クラブ活動計画予定

* 静内RC

2月 町の友好都市アメリカ・レキシントン訪問町内中高生による報告会

3月 養護学校静内ベテカリの園分校慰問

5月 桜舞サッカーフェスティバル(少年サッカー全道大会)地区インターアクト年次大会

* 三石RC

2月 町立図書館への図書購入資金の贈呈。「ロータリー文庫」として管理、昭和49年から継続現在までの累積額145万円、本年は100周年記念として増額の予定

5月 特別養護老人施設「蓬萊荘」

への植樹。桜・ツツジを主に町内施設に毎年実施

* 浦河RC

4月 南米パラグアイ「浦河文庫」への図書寄贈

5月 障害者乗馬療育活動をするボランティア団体「クロパー」への、乗用馬匹の寄贈(1頭約80万円、今回で2頭目)

* 様似RC

2月 ロータリー100周年記念コンサート開催

5月 保養施設「アポイ山荘」周辺への植樹

* えりもRC

4月 町内新入児童へ「交通安全ランドセルカバー」の寄贈

4月 「ゴミ一掃クリーン作戦」町内の少年団・女性団体・企業の協力を得て実施

5月 模範となる勤労青年および高校生に対する表彰

えりもRC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

上期現在増減なし

会員増強については会員増強委員会中心に有望な会員候補リスト等を作成し、目標を設定し取組むべく計画したが、まだ効果が出ていない。2名を目標に努力中。

R財団・米山奨学会への寄付について
現在までは実績なし

会員の中で趣旨を理解し寄付を考えている会員もいるが、実現迄には至っていない。

クラブの特徴・問題点等について

小規模クラブではあるが地域に密着した社会奉仕活動を、長年に亘り実施し広く町民から喜ばれている。

春、秋のクリーン作戦

町内各企業への給料袋の配布
模範となる勤労青年及び高校生への表彰

新入児童へ交通安全ランドセルカバーを贈呈

問題点としては、少数クラブであり会員増強・寄付等には苦労が多い。

奉仕プロジェクトについて

グループ内のロータリー所在の少年

野球チームを招待しクラブ主催の、野球大会を開催8チーム参加。

女性団体・スポーツ少年団・職場の仲間など約100名の参加を得て、町内の街路公園等の清掃を実施。「ゴミ一掃クリーン作戦」

「風の館プレスト・イン・ミュージック」コンサートへの協賛。

約120名の町民が楽しい一時を過ごしました。

三石RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

上期現在増減なし

8月の会員増強月間に会員増強委員会より、全会員に新規加入の呼掛けをし2～3名の推薦が提出されたが、1名が現在加入を検討中。当面は退会防止に努めたい。

R財団・米山奨学会への寄付について

10・11月の米山及びR財団月間に委員会より、全会員に地区の現況報告をし、特別寄付の要請をしたが成果がでない。現在の経済情勢の中、難しさはあるが引き続き努力したい。

クラブの特徴・問題点等について

小親模クラブなので親睦等では纏りやすいが、それぞれの担当部門に対する意欲と責任体制が兼務等のため不十分である。

様似RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

上期現在増減なし

会員増強については会員増強委員会は勿論、クラブ活性化委員会を設け積極的に取組んでいるが、現況の情勢からなかなか難しい。取りあえずは退会防止に重点をおき、現状維持をしたい。

R財団・米山奨学会への寄付について
経済情勢厳しい中、大変ではあるが会員の理解を得ながら推進したい。

チャリティオークション等による収益金を寄付することを検討中。

クラブの特徴・問題点等について

上期は月一回ペースで移動例会を実施(美術館探訪・「森に遊ぶ」樹木園・ウォーキングコース清掃・ソバ打ち体験・様似山道探査)

出席率の低迷が最大の課題。(業種及び小規模企業等が要因か)
奉仕プロジェクトについて
町立保育所の遊具施設の塗装及び小修理。(継続奉仕)

静内RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

上期で2名入会。1月1名入会決定。現在2名の推薦あり選考中。12月未で1名退会予定。

会員増強委員会を中心に会員に推薦依頼を要請中

R財団・米山奨学会への寄付について

ポール・ハリス・フェロー1名認証済今後引続き目標達成に向け努力する。クラブの特徴・問題点等について

年令を越えた厚い友情に支えられ、和気あいあいとしたクラブ運営が続いている。競走馬関連の会員が多く、レース優勝のニコニコボックスへの貢献大。

会員増強にあたりライオンズとの兼合いが難しい。

奉仕プロジェクトについて

国際奉仕

タイに人身売買され強制送還された、カンボジアの子供たちの受入施設への建設費の拠出(苫小牧市の市民団体「子供たちの笑顔を守会」への協力)社会奉仕

交通安全塔の設置。新築された特老施設にテレビ寄贈。市街地中心部にある河川及び周辺の清掃奉仕

新世代活動

青少年の健全育成に向け、日胆地区小学生バレーボール大会・青少年サッカー大会の開催並びにインターアクトクラブの支援。

浦河RC活動報告書

会員増強について

上期現在増減なし

会員増強については理事会等で度々検討され、会員に新規加入の積極的な勧誘を促し現在2名の推薦が提出されたが、まだ入会には至っていない。

会員増強並びに退会防止等を目的とした委員会を設置し推進を図ることを検討したい。

R財団・米山奨学会への寄付について

経済情勢厳しい中大変ではあるが、現在ポール・ハリス・フェロー、米山各1名の寄付決定。今後委員会を中心に未寄付会員に対する理解を促し、グループによる少額からの寄付等の取組みを推進したい。

クラブの特徴・問題点等について

会員の親睦と融和を図ることを目的に、夜間例会の開催・ゴルフ同好会の結成、また馬産地の特徴を生かし乗馬研修の企画を検討中。企業等の引き揚げ・産業団体の不振による退会に苦慮している。

奉仕プロジェクトについて

国際奉仕委員会

台湾中歴RCとの第9次姉妹クラブ締結を、11月台湾で盛大に挙行。双方の益々の交流発展を確認。

社会・職業・新世代各委員会合同による奉仕活動を、下記のとおり実施

浦河第一中学校サッカー部全国大会出場の栄誉を讃え表彰、引き続き選手と会員と一緒に町内道路の清掃活動の実施。終了後全員で会食をし、交流を図った。

第9グループ



ガバナー補佐
鈴木 久雄
(室蘭東)

ガバナー補佐活動報告書・計画書

会長・幹事会開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について
平成16年8月20日 24名 ガバナー公式訪問に関する件、地区大会について、ポリオ・プラス

平成16年11月19日 30名 国際奉仕 社会奉仕 職業奉仕について
ロータリー 100年祝賀会打合せ

平成17年1月21日

平成17年4月末予定

平成17年6月末予定

グループ活動計画予定

平成17年2月23日RC100周年家族同伴祝賀会の開催。ロータリー活動の内容を知って貰うために、R財団奨学生、GSE、米山奨学生から

実際の経験談を話して貰って支援の必要性を実感して貰う。その後は各クラブ合同してお互いの理解を深め、会員・家族間の親睦を図る。

R財団、ポリオ・プラスに対する支援。今年度は特に地区内の財団寄附とポリオ・プラスに対する支援を重大目的としたい。

会員数の増強。各クラブにおいて会員増強に力を入れ、クラブ活動の活性化を図りたい。

各クラブ活動計画予定

*室蘭RC

測量山ライトアップを支援

室蘭育英会への協力

駅前花壇の整備

防災ボランティアリストの整備

子供奉仕活動の協力リストの整備

*伊達RC

会員増強。今年度の増強目標5名に対し、入会者数3名、更に1名の増強を行いたい。

*室蘭東RC

全会員の参加によって、100周年記念「あれこれなんでも相談室」の開催。今年度で3回目になるが、多数の相談者が訪れ、非常に好評である。

*登別RC

1名の会員増強が出来たが、更に努力したい。ポリオ・プラスに対する寄附1人150\$があと僅かで達成される。

世界食糧デーに対する支援

*室蘭北RC

学生中心のR.A.C.の会員減少に対して存続問題があり、会員の強い要望もあって社会人を中心にしたものに組織を変更し、活動を行ってゆく

青少年の野球同好会及びジュニアヨットレースを助成し、育成を図る

*洞爺湖RC

児童・生徒に対し声掛運動の実施
新入学児童の交通安全街頭指導に参加

防犯パトロール腕章を使用し、不審者の発見に協力する

噴火で消失したままになっているロータリー文庫湖読書の家に対して50万円寄贈

観光案内板の設置

伊達RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数 2回

会員増強について

今年度会員増強目標人数は5名

今年度入会済会員数は4名

(2004年7月20日3名入会式
2004年12月7日1名入会式)

R財団・米山奨学会への寄付について
米山功労者として3口送金済 30万円

室蘭RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数 1回

会員増強について

今年度上期における会員増強は、7月に2名 9月に1名、又、前年からの継続した入会勧誘により、12月に1名の入会を達成できた。

また、退会者も委員会活動、同好会活動等活発にする事により会員相互の親睦を図れ、退会者0名となっている。R財団・米山奨学会への寄付についてR財団寄付

9月に1人50\$ 計2600\$の財団寄付
米山奨学会

普通寄付 上期期首に2,000円/人で
102,000円

特別寄付 5名の会員により

計¥700,000の寄付

2004年10月時点で累計5,444,688円
5回目の功労クラブ表彰を受彰しました。

クラブの特徴・問題点等について

RC全般的な問題点であると思われる、会員数の減少に伴い、1RCの活動だけでなく、他RCとの協力により広域的な事業等(例、最近では3RCでの作文コンクール主催)を今後活動していく事が必要と思われる。

奉仕プロジェクトについて

前期の活動報告

- 子ども奉仕活動の一環として「小中学校での授業」と「職場での小中学生の研修」を会員登録に協力を呼びかけ、12月2日現在で、延べ22名の登録が出来、市教育委員会への協力会員一覧を提出しました。各小中学校の要請により、4件の各小中学校での授業が実現している。

- 測量山ライトアップへの支援

平成17年7月以降、社会奉仕委員会・広報委員会の相互協力のもと、

測量山ライトアップを支援し、事業開催日、RCの活動のアピール等市民皆様への周知、あいさつ等を掲載している。

- ・NHK歳末助け合い 市歳末たすけあいへの寄付

- ・室蘭育英会への協力

- ・会報「はぐるま」で、例会のコンパクトで分かりやすい再録と今後のクラブ活動、委員会、同好会活動の予告と経過の掲載

- ・WCS委員会よりの書損じハガキ・未使用テレカの収集依頼への協力(ハガキ200枚程 テレカ30枚程)

下期の活動計画

- ・駅前花壇の整備 市図書館へのロータリー文庫への寄付

- ・防災ボランティアリストの整備、子ども奉仕活動の協力リストの整備。

又、新規事業を考慮中(平成17年4月にオープンする旧駅舎広場のオープニングセレモニーに室蘭RCとして参画する)

会員増強状況

平成16年7月1日に1名の新入会員を迎え51名でスタートし、7月に他の1名の計2名、9月に1名、12月に1名で計4名の新入会員12月末日会員数は54名

室蘭東RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数 2回

会員増強について

今年度は2名の増強を目標としているが、上期は未達成。入会勧誘は会員からの情報提供の都度実施している。数件の情報があり、下期での目標達成を目指している。親睦重視の活動方針で退会者は0に止まっている。

R財団・米山奨学会への寄付についてR財団

下期に1人100ドル(内訳 ポリオ・プラス50ドル。ポール・ハリス・フェロー 50ドル)予定

ポリオ・プラスはこれにより目標の150ドルを達成することになる

米山奨学会

普通寄付 上・下期併せて1人4,200円
特別寄付 445,000円

4回目の功労クラブ表彰受彰

会員数 43名

クラブの特徴・問題点等について

- ・親睦を第一とし、楽しく和やかな伝統が引き継がれている

- ・ロータリー共通の悩みとして会員減少が当クラブにもある。

奉仕プロジェクトについて

上期の予定

100周年に関する事業

- ・新世代「100年後のムロラン・私の夢」作文コンクールを室蘭市内3RC合同で実施

- ・国際 100周年記念韓国家族同伴海外野外例会を実施(平成16年9月)

- ・職業 室蘭工業大学への出前講座実施

その他の事業

- ・社会、インターアクト イタンキ浜海水浴場清掃奉仕

室蘭大谷高校、室蘭工業大学留学生も参加

- ・社会 室蘭市の「まちパートナー事業」を支援

歳末助け合いへの寄付

- ・新世代「金属を溶かしてものづくり」を実施

ロータリー財団地区補助事業

下期の予定

- ・100周年記念第9グループ合同家族同伴例会の開催(平成17年2月)

- ・職業 100周年記念「あれこれなんでも相談室」の開催(平成17年2月)

室蘭北RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数 1回

会員増強について

今年度上期において、当クラブは、平成16年7月末に1名の退会、8月に1名入会その為、純増員はなかった。今年度の目標として3名の入会を掲げているが、下期に頑張りたいと思う。

R財団・米山奨学会への寄付についてR財団

平成17年9月及び12月合計2,400\$の寄付をする。

米山奨学会

普通寄付 上期期首に 1,500円/人
¥55,500

特別寄付 1法人(米山功労法人となる)1個人(ファンドフェロー2)計 ¥130,000

クラブの特徴・問題点等について

当クラブの特徴としては女性会員が

2名いますが、2人ともにロータリー活動に対して積極的で、第9Gの中で初めての女性幹事が生まれました。当クラブも会員の減少に伴い、室工大や文化女子短大の会員がいなくなり、ロータリークラブの存続問題が在りましたが、RAC会員の強い要望もあり、一般の社会人を中心とした組織に変えて活動していく事にしました。

奉仕プロジェクトについて

上期活動報告

社会奉仕委員会 加藤栄吉委員長

・平成16年9月4日 ボーイスカウトと中島地区の清掃奉仕活動と植樹を行う

・平成16年11月31日 ボーイスカウト50周年記念祝典に参加する

新世代委員会 斉藤 崇委員長

・少年野球に50,000円助成

・ジュニアヨットに50,000円助成

・3クラブ合同で作文コンクールを行い11月30日審査発表会を行った

ロータリークラブ委員会

斉藤 崇委員長

・平成16年8月24日 特別委員会をつくり、ロータリークラブについて検討する。

国際奉仕委員会 高橋保史委員長

・書き損じハガキ、使用済みテレカの収集を行う

・室工大留学生と交流会を行う

ロータリー財団委員会・米山記念奨学委員会 斉藤義寛委員長

・一人あたり100\$を目標額とする

・クラブとして4,000\$を目標とする

クラブ奉仕委員会 神島 章委員長

・平成16年8月31日クラブフォーラムを行う

主題は 積立金について

R.A.C.について

内容は平成16年9月7日号の会報に掲載しています。

クラブ会報委員会 松島 茂委員長

・通常の会報記事以外の話題の提供していただきたい。

広報委員会・雑誌委員会

及川 力委員長

・ロータリーの友への投稿をお願いしたい

会員増強委員会・会員選考委員会

矢澤光男委員長

・実質増員目標を3名とする

・5人で1名の新会員計画を発表

ロータリー情報委員会

村井幺乙委員長

・平成16年9月にインフォーマルミーティングを行いました、ロータリーがおもしろくないと思う人はただのロータリーの会員であるがロータリーをおもしろくしているのがロータリアンである。

I・C委員会 笹谷豊明委員長

・当クラブのホームページを見てもらいたい

・「米山だより」、「ロータリーの友」を地区のメールマガジンのアドレスにアクセスして内容をくわしく知ってもらいたい

S.A.A. 斉藤泰成委員長

・私語、退席者は少なかった

・指定席にならないようにしたい

・例会出席時にエンブレム(パッチ)をつけてもらいたい

下期活動計画

新世代委員会を中心に以前から活動していた蘭東少年野球同好会25周年記念を迎える事になりその式典に参加し、これからもその様子を見届ける事とする。平成17年6月には、ジュニア・ヨットレースの助成並びに大会に参加する。社会奉仕委員会の継続事業の1つとして平成17年4月から5月をめぐりに献血運動を行っていく予定。

会員増強状況

8月に1名の会員が入会しましたが、その後、まだ入会者はなく、現在37名です。これからも会員全員で、増強に力を入れて行く予定です。

登別RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数1回

会員増強について

1名会員増強を果たしたが、まだ本格的な増強活動ができておらず、下期には尚一層の会員増強を図りたい。

R財団・米山奨学会への寄付について R財団寄付金

1名当たり100ドルは達成予定

米山寄付金

順調。ただし送金の関係で遅れており早急に手続きを完了したい。

また、ポリオ3年間で1名あたり

150\$もあと僅かで達成予定。こちらも送金関係の手続きを早急に行いたいと考えております。

クラブの特徴・問題点等について

本年度は、遠藤ガバナーをはじめ地区の運営に当たっておりますが、今後も地区に対して継続的な貢献が必要と考えられますのでその体制づくりが今後の検討課題と思われま

す。クラブ活動は、例会の卓話中心でそれ以外の事業、プロジェクトがどちらかといえば活発でないため、今後も予算を考えながら持続可能な事業の立ち上げが必要と思われま

す。奉仕プロジェクトについて

本年度は、地区大会他地区事業のサポートのため、上期については、それほど報告するような事業はできておりませんが、毎年継続している世界食糧デーに対する支援を実施致しました。

洞爺湖RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

洞爺湖温泉街の人口が噴火後、激減したため、会員の増強をはかりたいが、非常に困難な状態にある。現会員10名だったが1月14日1名の退会者が出た。今年度中に1名の会員増強を行いたい。

R財団・米山奨学会への寄付について R財団に対して積極的に参加したい。

ポリオ・プラス3ヶ年の最終年に当り、1人150\$の目標に近づけるように頑張りたい。

クラブの特徴・問題点等について

会員の増強がないと会の運営もさまたげられる。

奉仕プロジェクトについて

僻地校、花和小学校との交流を実施収穫祭にロータリアンも参加する。児童、教職員と親睦パークゴルフ大会児童、生徒に対し声掛運動の実施新入学児童の交通安全街頭指導参加防犯パトロール腕章を使用して不審者の発見に協力

噴火で消失したままになっているロータリー文庫、湖読書の家に対して50万円寄付

観光案内板の設置

第10グループ



ガバナー補佐
加藤 直樹
(七飯)

上期ガバナー補佐活動報告書

会長・幹事会開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について
平成16年8月23日 19人 人頭分担金について、100周年事業について、GSE
平成16年10月29日 17人 100周年事業について、GSE決算報告
平成16年12月10日 16人 100周年事業について

担当グループ特記事項

函館RC 70周年記念事業

七飯RC 合同観月会

亀田RC サッカー大会

下期ガバナー補佐活動計画書

グループ活動計画予定

平成17年2月23日、森RC・上磯RC・亀田RC・七飯RC合同例会
函館RC家族例会、森RC家族例会、長万部RC家族例会

平成17年5月11日、森RC合同観桜会第10グループ

各クラブ活動計画予定(平成17年度)

函館RC 2月23日 家族例会

亀田RC 2月23日 合同例会

森RC 2月23日 家族例会
5月11日 合同観桜会

七飯RC 2月23日 合同例会

長万部RC 2月23日 家族例会

函館RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

新入会員が何人か入会するが退会するので現状維持である

R財団・米山奨学会への寄付について
ほぼ目標どおり

奉仕プロジェクトについて

現在奨学生が9名で創立70周年事業として10名ほど追加しました。過去に150名程奨学金を頂いた生徒がいます。その中で当クラブの会員もい

るので追跡調査も必要かと思えます。

亀田RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

現在純増 1名

R財団・米山奨学会への寄付について

ほぼ目標どおり

奉仕プロジェクトについて

少年サッカー大会の開催

森RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数 2回

会員増強について

鋭利努力中

R財団・米山奨学会への寄付について

ほぼ目標どおり

七飯RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

鋭利努力中

R財団・米山奨学会への寄付について

ほぼ目標どおり

長万部RC活動報告書

会員増強について

鋭利努力中

R財団・米山奨学会への寄付について

ほぼ目標どおり

第11グループ



ガバナー補佐
吉川 達也
(函館東)

上期ガバナー補佐活動報告書

会長・幹事会の開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について

平成16年6月14日 24人 支援学生について、GSEについて、その他

平成16年8月23日 24人 ガバナー公式訪問について、GSEについて、函館RC70周年

平成16年10月29日 22人 100周年例会について、その他

平成16年12月17日 22人 五稜郭RC35周年について、その他

担当グループ特記事項

*函館北RC

新設委員会である地域発展委員会を中心に会員全員参加での社会奉仕に取り組んでいる。

*函館五稜郭RC

奉仕プロジェクトも順調に推校しており、下期には数名の増強も計る予定

*江差RC

会員増強等においても全員で取り組んでおり危機感の脱却を計っている

*上磯RC

青少年支援、GSEと少ない会員数で努力しております。

*松前RC

負担金等の人頭割合がアップになるので苦慮しているようです。

下期ガバナー補佐活動計画書

会長・幹事会開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について

平成17年2月 函館五稜郭RC35年

平成17年4月 未定

平成17年6月 未定

グループ活動計画予定

11グループ全体として、函館五稜郭RC創立35周年記念式典への積極的参加要請。

創立100周年記念例会について各クラブの対応について。

各クラブ事業についての協力等の要請について。

各クラブ活動計画予定

*函館北RC

ソロプチミストゾンタとの交流例会
ロータリー100周年七飯RC合同例会

インターアクト年次大会への参加事業計画に対するチェック

*函館五稜郭RC

創立35周年記念式典3月12日

五稜郭祭パレード参加

ロータリー100周年例会の実施

事業計画に対するチェック

*江差RC

国際交流及び歴史交流の取組(江差追分を媒体として)

江差RCの森勸奨交流会の開催

創立100周年例会の実施

* 松前 R C

桜の木保存事業（天狗巣病除去作業等）

創立100周年例会の実施

* 上磯 R C

社会奉仕委員会によるおしまココロ
ニ一花壇整備

交換留学生への取組

創立100周年記念例会の実施

* 函館東 R C

長崎東 R C 創立35周年式典参加
（平成17年1月21日）

横岡東 R C 創立50周年式典参加
（平成17年2月21日）

事業計画に対するチェック

江差 R C 活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数 2 回

会員増強について

今期（2004～2005）7月1日（現）では、16名の会員でスタートしましたが、8月に死亡退会1名、9月に今期上期で退会申込者1名、下期は14名会員と暗い状況に向かえ、危機感を一層募らせ、例会毎に会員確保議題を続けました。その効果と思いますが、下期（1月1日現）予定会員数16名に復活できる見込みとなりました。只その数で満足することなく目標20名にむけまして取り組んでいる現状です。R財団・米山奨学会への寄付について
深見会長の基本とする江差 R C の奉仕事業を、自らの行動（江差 R C 及びその仲間）で、R I が求める社会奉仕事業を進めることは、小クラブの江差 R C では限界があるという考え方から、R財団・米山奨学会に対する寄付行為は積極的に取り組まねばならないとしています。只、会員が少ないための財源事情があります。現在は、R I が提唱している額の確認を得てはいないが、従来よりは前向きな「額」が期待できると感触しております。

クラブの特徴・問題点等について

江差の人口は約10,000人強のなかに、ライオンズクラブ、国際ソロプチミスト、青年会議所と小さな町ながら奉仕活動団体が多いことが上げられますが、その構成員が所属する地元企業等は弱小化の規模が支配しております。従って、各奉仕団体の組織規模も

小さく組織確立のことで共通した悩みをもっていると推測しております。それらの地域事情のなかにある江差 R C では、国際 R I 理念を柱として会員相互及びその家族との友愛、同志感を強めた運営に努めている実態です。自らの地域奉仕事業に当たっては、財源、運営力等を勘案して継続性を求めながら、少数精鋭主義で実施している実態です。

奉仕プロジェクトについて

先ず、国際ロータリーとは何をもち奉仕活動と言っているのか。など地域社会に対して周知することや理解を求める事業が必要ではないかと、例えば、町広報、新聞（特に道新）に取り上げられそうな情報を発信するとか。また、社会福祉団体、学校（小、中、高）P T A などとの共催、後援を通して、国際ロータリー及び江差 R C が取組んできた100年の奉仕事業実績（江差 R C にあっては43年）を紹介するなどのことに取組んでおります。特に江差追分を媒体とした国際交流や歴史交流などにも取組んでおります。

江差 R C 奉仕事業の43年間詩を纏めることにも取組んでおります。

函館五稜郭 R C 活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数 2 回

会員増強について

7月1日現在会員 68名

12月1日現在会員 64名 4名減少

今後の増強見通 1月1名、2月1名の入会予定です。

なお、下半期については退会防止に全力をあげ、年度内に当初会員数まで増強を計りたいと考えております。

R財団・米山奨学会への寄付について
現在 6,766\$

現在 570,000円

奉仕プロジェクトについて

職業奉仕委員会

10月2日に市教委主催で行われました「まなびとフェア」に体験学習コーナーをクラブ、会社、職業奉仕委員会合同で出展し「ブリキのちりとり・風車づくり」を通して、もの作りと職業理解さらには R C を理解してもらおうと実施しました。当日は R C のポスターやチラシを配布しました。

社会奉仕委員会

今年度も地域交流委員会を中心に「函館野外劇」公演に延べ40人の会員が参加。100名の観劇を行いました。また、運営スタッフとして、阿彦会員が5～6年にわたって奉仕活動を続けております。

クラブ奉仕委員会

2回の情報委員会を開催しました。入会1年未満の会員との懇談会及び会食を通して、理解と定着を計っております。

函館東 R C 活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数所属クラブ

会員増強について

7月に7名が入会し、下期には退会者が増加しそうです。

R財団・米山奨学会への寄付について

R財団は目標6,000ドルに対して1,600ドルです。

米山奨学金の寄付は、10万円です。

目標達成は、難しい状況です。

クラブの特徴・問題点等について

平成16年12月7日に会長が退任

奉仕プロジェクトについて

新世代委員会

社会福祉法人かいせい（重度知的障害者施設）への支援事業として、11月30日にカレンダー巻きの支援と、器具備品を寄贈し、2005年度用カレンダーと手帳の収集活動を行う。

国際奉仕委員会

東南アジア諸国において恵まれない子供達への学用品等の寄贈又は身体不自由な人達へ車椅子の寄贈を計画し、11月20～25日の期間委員長他6名の会員がベトナム社会主義共和国を訪問し、日本より持参した車椅子や学用品・衣類・おもちゃなどを寄贈した。

函館北 R C 活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数 2 回

会員増強について

例会におきまして、ビデオ放映、フォーラム等による会員一人一人意識改革を求め、委員長を中心に会員増強を進めておりますが、現在迄の入会は2名、退会が1名と実質的には、1名の増員となっており、計画の5名増には達していません。

R財団・米山奨学会への寄付について
今年度より任意積立を実施することを決定し、会員が、ポール・ハリス・フェローあるいは米山功労者の受賞者になることを目標としております。

現在迄の状況は

財団寄付 1,000ドル

米山寄付 380,400円

となっております。

クラブの特徴・問題点等について

少数精鋭と申しますか、人数的に少ないクラブながら会長経験者が会員の半数近くおり、経験豊富なロータリアンが多く、大変まとまりあるクラブです。問題点は、やはり第一番が会員の減少です。少数会員クラブのため、財政的に苦しく十分な奉仕活動予算が計上できないのが現状です。

奉仕プロジェクトについて

今年度より地域発展委員会を新設し、会員が参加し一致協力し、地域に根ざした社会奉仕活動を進めるべく活動しています。現在は、イルミネーションコンテストの期間中で個人住宅で飾り付けた作品を自薦・他薦を問わず、ホームページで募集するとともに、会員自ら訪問し募集しております。尚、例年の奉仕活動については、計画通り進んでおります。

上磯RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数3回

会員増強について

7月1日会員数29名は現状維持のまま、鋭意努力しておりますが、会員数増加には至りません。

R財団・米山奨学会への寄付について
ロータリー米山記念奨学会へ

普通寄付 8月6日 29万円

クラブの特徴・問題点等について

会員の出席率が低下の傾向にあり、これは当クラブの会員構成が40代の会員が多くどうしても仕事優先であり、毎年の課題であります。対策として定期的な夜間例会の開催を模索しております。

奉仕プロジェクトについて

青少年交換委員会

(1年間、青少年交換留学)

平成16年8月15日 5360地区(カルガリー・カナダ)よりイアン・スコッ

ト・ホワイト君来日

平成16年8月18日 5360地区(カルガリー・カナダ)へ大場菜桜子さん出発
国際奉仕委員会

平成16年10月10日より10月16日まで3350地区(バンコク・タイ)よりGSEメンバー受入
新世代奉仕委員会

平成16年10月23日 薬物乱用防止街頭募金奉仕活動(上磯)

参加人数 高校21名、中学92名、会員11名

平成16年11月1日 薬物乱用防止街頭募金奉仕活動(木古内)

参加人数 中学36名、会員1名

国際奉仕委員会

平成16年11月11日より13日まで5010地区奨学生(ロシア文化研修生)アンナ・シュミロアさん、マリア・ベトロバさんを迎え夜間例会、翌日は極東ロシア大学訪問。函館とロシアにまつわる歴史的建造物等見学

地域ボランティア推進委員会

平成16年11月18日

上磯町身体障害者協会へ10万円寄付

松前RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

7月30日1名退会(現在8名)

R財団・米山奨学会への寄付について
R財団年次寄付

9名×\$50×104円=46,800円

米山奨学会普通寄付

9名×2,000円=18,000円

第12グループ



ガバナー補佐
藤澤 正昭
(苫小牧)

上期地区ガバナー補佐活動報告書

会長・幹事会の開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について

7月29日 9人 ロータリー創立

100周年記念行事に関する件 会員

増強の件 R財団の件

8月25日 9人 ロータリー100周

年記念行事について

9月22日 9人 ロータリー100

周年記念行事 地区大会

12月7日 8人 第12グループ(4

クラブ合同例会)100周年行事

担当グループ特記事項

ロータリー創設100周年記念行事に関する件。

第1回会長、幹事会において、4クラブそれぞれの案を提出して頂き検討を行なった。少年スポーツ大会市民参加の講演会など多数の提案があった。平成16年全国高校野球優勝校である駒沢高校監督の講演が予定された。請事情により中止になった。最終的には4クラブ合同で、ロータリー創設100周年祝賀の新聞広告を行なうことに決定した。平成17年2月23日に、4クラブ合同の100周年記念例会を実施することが決った。

会員増強に関する件

退会者防止、新会員、再入会などについて検討。

下期ガバナー補佐活動計画書

会長・幹事会開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について

平成17年1月 9名 100周年記念

行事の打合せ。会員増強

平成17年2月 9名 100周年記念

行事の準備。実施

平成17年4月 9名 ポリオ・プラス

平成17年5月 9名 活動計画のま

とめの反省

グループ活動計画予定

「ロータリーを祝おう」

市町民にロータリーをPR、奉仕活動を理解していただく、会員の親睦と友情を深める。

平成17年2月：新聞広告(4クラブ各会長100周年祝辞)

平成17年2月23日 4クラブ合同

例会(白老RCを主軸として)

12グループ全体で100周年記念

例会および懇親会を開催。

以下の三大目標に出来るかぎり協力

する。

会員増強：新会員の発掘につとめる。

ポリオ撲滅募金キャンペーン：目

標達成に努力。

財団支援

家庭奉仕、家族奉仕を積極的にすすめていく。

白老RC活動計画書

祭り等の行事に出店

財団や奨学会への寄付金を全メンバーと家族総出で楽しくコミュニケーションを計りながら汗を流し、資金を稼ぎ全額寄付へ割りふりする事業。これは年間活動方針のに記載されておりますが、これは少ないメンバーでも出来る大きな事業であります。この事業を定着的、定期的におこなう事が出来ればメンバー減少問題防止にもなると思うので是非これを実施したい。

ロータリー誕生100周年記念4クラブ合同例会が白老RC主管で2月23日、白老で開催されます。これを成功裡に終了させる事。

会員減少の問題について

- ・減少(退会)防止
- ・減少によるクラブ運営の諸問題

これらの問題についてクラブ例会におきまして時間をかけ、徹底的に協議を全員でおこないたい。

会員増強について

この事については机上で協議しても解決出来ないと考えるので時間をきめ、何名かずつでチームを作り、直接訪問し、勧誘する事を考えたい。

白老RC活動方針

ロータリー誕生100周年記念植樹構想(記念植樹いたしました。)

地域の皆さんの憩いの場所としての公園化構想

地域の皆さんの散歩道としての並木構想

地域の皆さんと共に広げていく「ロータリーの森」構想

以上のような考え方で立地、地域の希望などを調査の上、いづれかに決め検討に入ります。

パークゴルフ大会(サッカー大会に変更し実施致しました。)

クラブメンバーの2名がパークゴルフ場を経営されております。これを利用し、小学生と老人を対象に検討しており、これを、ロータリー誕

生100周年記念大会として、継続事業としての検討もしております。

祭り等の行事に出店(現在迄は未実施)

財団や奨学会の寄付金を全メンバーと家族総出で、楽しくコミュニケーションを図りながら、汗を流し、資金を稼ぎ全額寄付へ割りふりする事業も検討しております。

夜間例会を月1回開催(実施しております)他クラブでも実行されている月の最終例会日を夜間にする事により出席率向上になり、楽しい例会になるか検討しております

RCを地域にもっと知ってもらう為の周知(2月23日に4クラブ合同で実施予定)25年の歴史を持ちながら、意外に地域内知名度が低い為、ロータリーを広報、周知し、期待されるRCとしての位置づけを検討する。

RCの立看板及び玄関先の看板設置(作成いたしました)

当クラブは、年間数十万人と云われる入込客がある、ポトコタン施設の玄関先に、事務局を構えながら所在を示す看板がない為、遠来のクラブロータリアンが入館しても、この町にRCがある事を知ってもらえない事と、地域の皆さんに存在を知ってもらえない原因になっているので検討する。

苦小牧RC活動計画書

本年度はロータリー創立100周年に当たります。グレンE.エステス・シニアRI会長が掲げた『CELEBRATE ROTARY ロータリーを祝おう』のスローガンの下、上期同様当クラブ会長のクラブ運営方針と活動目標に従って活動を継続してまいります。

ロータリアンとしての資質を高める努力をしましょう。ロータリーに関する情報に目を通しましょう。

クラブ運営に協力しましょう。

クラブ活動を広く地域社会に知ってもらい、会員増強に努めましょう。

クラブの活性化に努めましょう。

出席率を高め、親睦を大切にし、楽しい例会にしましょう。

地区活動に協力しましょう。

R財団及び米山記念奨学会へ協力し

ましょう。

又、記念事業として第12グループ4クラブ合同例会を予定しております。

苦小牧東RC活動計画書

平成17年1月13日

新年家族会(グランドホテルニュー王子)留学生との交流 7名 招待

平成17年2月17日

苦小牧工業高校卒業生(3年270名)交通安全講話会

平成17年3月10日

家族・留学生・親睦ポーリング大会

苦小牧北RC活動計画書

2004年～2005年度RIグレンE.エステス会長のテーマは“CELEBRATE ROTARY”「ロータリーを祝おう」です。又、国際ロータリー第2510地区遠藤秀雄ガバナーは、4つの地区目標をたてられました。それに沿って今年度の会長方針および目標をたてさせていただきました。あまり多くのことはできませんので次の3つにしぼりました。

1. ロータリーの100周年を祝おう
2. 継続事業の見直し
3. 会員増強と退会防止

下期もこの目標に向かって頑張りたいと思っておりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

地区委員会

活動報告

ローターアクト海外研修報告書

ローターアクト委員会

委員長 柳 孝一（札幌幌南）

過去ほとんど東南アジア中心で行ってきた海外研修でしたが、一昨年から要望が高かった、オーストラリアでの海外研修になりました。

斎藤地区代表（千歳RAC）が、ROTEXで派遣先がオーストラリアだったこともあり、現地とメール等でコンタクトを取り、オーストラリア国内の都市でいろいろ候補がありましたが、予算の関係もあり、ケアンズに。ケアンズサンライズRCにお世話いただくことになりました。サンライズRCは、新札幌RCの青少年交換留学生である杉本光さんのスポンサークラブということもあり、スケジュール等の打ち合わせもスムーズに行われたようです。

さて、1月22日15時半千歳空港集合、名古屋経由で翌23日早朝ケアンズ着、すぐにケアンズサンライズRCのロータリアンの案内で、車いすバスケットの練習を見学させていただけることになり、会場へ。車いすバスケットのチームは全員が障害を持った人というわけではなく、家族や知人などの健常者もメンバーで、車いす利用者だけでなく、健常者もそれに加わり同じフィールドでそのスポーツを楽しむことが当たり前なのが、新鮮でした。アクトもチームにそれぞれ加わり、車いすバスケットを体験しました。予想以上にかなりハードだったようで、筋肉痛になったアクトもいました。初めての貴重な体験をさせて頂きました。

24日各自でフリータイム。ケアンズの海や山の観

光ポイントを散策しましたが、とうてい一日では廻りきれなかったようです。国際観光都市ということもあり、街並み整備はかなりいいレベルにあり、またフレンドリーな環境は、観光都市札幌、北海道にも見習う点は多いように思いました。

25日はケアンズサンライズRCの例会に出席しました。サンライズという名称通り、朝7時からの例会です。我々一行は、緊張の中、まず自己紹介をするまもなく、飲み物や軽食を勧められ、例会前の時間を過ごしました。点鐘が鳴り、いよいよ例会です。（連打した点鐘は始まりの合図であり、静粛にさせる意を持っていることを知りました）ロータリーソングの斉唱はなく、綱領を全員で宣誓していたようです。その後それぞれ自己紹介を英語でしました、ROTEX（派遣先オーストラリア）でもある斎藤地区代表が地区内ローターアクトクラブの活動の紹介、メンバーの詳しい紹介などし、私はホームクラブ（札幌幌南RC）のパナーを交換しました。また、アクトクラブのそれぞれの地酒と北海道の銘菓をお土産にプレゼント、大変喜んで頂きました。北海道の観光パンフ英語版も重宝しました。お返しにサンライズRCから、パナーとクラブオリジナルのマグカップを頂きました。最後にアクト全員でローターアクトソングをアカペラで合唱しました。（アクトソングはロータリーソングと同じ役割で、毎例会ほか地区行事などで歌われます。）私も数十回合唱を聴いていますが、今回ほどの熱唱を聞いたのは初めてで、感動しました。やれば出来る、何故普段も今日のように歌はないのか、複雑な気持ちにもなりましたが、その感動は、サンライズRCのロータリアンにも通じ、俺たち、私たちも「歌う、歌いたい」と例会のプログラムにない国歌の返歌がありました。感動的な時間でした。

例会終了後、サンライズRCに用意して頂いたバスで幼年から高校までの一貫教育をしている「Trinity Anglican School」を見学。この学校は今回海外研修のパイプ役で青少年交換留学生の杉本光さん（スポンサー新札幌RC）が通う学校でもあります。続いてサンライズRCの会長でもあるGraham Kochさんの保険会社へ職場訪問、息子さんの奥さんは日

本人で、お孫さんが生まれたばかりでした。そして、「Endeavour Foundation Workshop」知的障害者作業所を見学しました、ダウン症や自閉症などの障害をもつ方々が自宅やグループホームから、作業所へ通ってきています。航空機内で使うヘッドホンを検品、梱包作業や古着の再生、書類のシュレッター処理等の作業をしているそうです。担当者の方から、長時間にわたり詳しい話をお聞きしました。その後、観光名所等をして頂きました。

26日最終日です。当日はオーストラリアデーという祝日で朝からイベントが始まります。ケアンズRCの皆さんがマチの中心のイベント会場でホットドッ

クとドリンクのチャリティ販売を見学、朝食がわりにホットドックをいただきました。金額も安く市民の皆さんが気軽に買って行きます。もちろんクラブ旗とそろいのユニホームです。(チャリティはスマトラ沖地震)飛行機が12時発のため、早々に会場をあとに帰路に着きました。

今回の海外研修でロータリーという世界共通の理念の再確認と友愛、奉仕、親睦というロータリーの根本をローターアクトが体感できた。またローターアクト間の親睦も深まった有意義な海外研修であったことを報告いたします。



車いすバスケットの試合に参加



サンライズRC例会の斎藤地区代表



Trinity Anglican Schoolで説明を受けてます



Endeavour Foundation Workshopの皆さん



作業所で広報の方に真剣に質問するアクト



ケアンズRCの皆さんのチャリティBBQ

新しい手続要覧と推奨クラブ細則



情報・IC委員会

委員長 山田 信夫(苫小牧北)

手続要覧 2004

2004年度版「手続要覧」日本語版が発行されました。近年の手続要覧の表紙は紺色や黄色といった単色でしたが、今回は白い雲が浮かんだ青空の絵が使われています。

世界中のロータリークラブはこの青空のもと一つになり、100年の歴史を刻み大きな成果を上げてきました。手続要覧はその活動を支える象徴的な存在だと思えます。この新しい手続要覧を手に共通の認識で奉仕の実践を進めていただきたいと思えます。

この手続要覧は昨年6月開催された規定審議会の決議を受けて大小様々な改訂が含まれています。特筆すべき点は、人頭分担当金が値上げされたことです。(手続要覧2004 - P56)今年度から3年間にわたり、年4ドルづつ値上げされることが明記されています。

また、「感謝の意の表明」というRI会長とRI会長エレクトへの謝礼の項目が削除され、事務総長が報酬を受ける唯一の役員とすることが明記されました。(同 - P185) ロータリーの友でも「感謝の意の表明」には批判的な投稿がいくつか見られた注目の一件です。

他には、相互参加型のクラブのウェブサイトに参加することでメークアップとする方法が加えられました。(同 - P234) 具体的



な方法は示されていないので、どのように相互参加型を実現するかが鍵となるでしょう。

注意すべき点は、この手続要覧にある「推奨ロータリー・クラブ細則」(同 - P243)が既に、2005年1月改訂されていることです。次に、この点について解説します。

推奨ロータリー・クラブ細則の改訂

手続要覧の中には国際ロータリー定款、国際ロータリー細則、標準ロータリー・クラブ定款、推奨ロータリー・クラブ細則、ロータリー財団細則などが含まれていますが、この「推奨ロータリー・クラブ細則」が手続要覧の見本配布開始とほぼ同時期の2005年1月に新しい「推奨ロータリー・クラブ細則」日本語版が公開されました。(改訂は2004年11月のRI理事会ハイライトで発表)

よって、2004年度版「手続要覧」にある「推奨ロータリー・クラブ細則」は既に古いものとなりました。

大きく変更された部分は委員会構成に関する部分で、これは、先に発表された「クラブ・リーダーシップ・プラン」にある新しく示された効果的なクラブ運営の枠組みに基づいています。

委員会構成はこれまでの、社会奉仕委員会、親睦活動委員会という表記はなくなり、会員増強委員会、クラブ広報委員会、クラブ管理運営委員会、奉仕プロジェクト委員会、ロータリー財団委員会の5つの委員会とし、必要によっては他の委員会を組織できるとあります。

この改訂によって、クラブの実状にあった委員会構成が可能となる利点があります。特に会員数が少ないクラブにおいては新しいクラブ細則の採用で無理のない委員会構成が可能になるだけでなく、刻々と変化していく地域社会の実状に、クラブ細則の変更なしに対応できる柔軟性も出てくるでしょう。

「推奨ロータリー・クラブ細則」はクラブ定款、国際ロータリー定款・細則と矛盾しない範囲で各クラブが独自のものを作ることが可能なので、新しいクラブ細則を理解し積極的に導入する意味は大きいと思われます。

入手方法

手続要覧 2004年

新しい「手続要覧」は、2004 - 05年度カタログ[019 - JA]にある注文用紙で日本事務局に申込み、請求された代金を前払いします。または、手続要覧専用注文書が当地区のホームページからダウンロード可能です。

番号：035 - JA / 品名：手続要覧 2004年 / 単価：\$7.00

推奨ロータリー・クラブ細則

新しい「推奨ロータリー・クラブ細則」は、現在RIの日本語ウェブサイトからのみ入手可能です。

RIウェブサイト <http://www.rotary.org/> から 日本語(ページ右上) ダウンロード(ページ右上) クラブ・地区支援(ページのメニュー右側) 右列の上から5つ目

「スマトラ沖大地震支援」書き損じハガキ未使用テレカ 回収事業第1回集計報告



世界社会奉仕委員会
委員長 齋藤修弥(室蘭)

会員の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃、世界社会奉仕委員会事業につき大変お世話になっておりますこと、厚くお礼申し上げます。さて、この度の「スマトラ沖大地震支援」書き損じハガキ未使用テレカ回収事業につき、多

大なご協力をいただき誠に有難うございました。別表のとおり29RC、2個人合計31件の暖かい申し出があり、換金の結果書き損じハガキ235,102円、未使用テレカ146,820円両者合わせた合計金額は381,922円となりました。早速2510地区ガバナ―事務所を経由して国際ロータリーに送金いたしました。その後の現地の報道を見るにつけ、支援活動は長期間にわたって行う必要性を痛感しております。従って今後とも引き続き回収事業にご協力のほど宜しくお願い申し上げます。尚、第2回の締め切りは本年6月末を予定しております。この度のご協力本当に有難うございました。

書き損じハガキ / 未使用テレカ回収状況

2月8日現在

	月日	ロータリー名	官製ハガキ	往復ハガキ	500円テレカ	1,000円テレカ	合計	その他
1	1月4日	江 差	80	2	71	4	157	34
2	1月4日	個 人 1	82				82	
3	1月25日	江 別		13	2		15	
4	1月26日	滝 川	234	4			238	
5	1月27日	様 似	108				108	
6	1月27日	留 萌	303		21	1	325	
7	1月27日	長 沼	408	19			427	
8	1月27日	室 蘭	592	54	130	2	776	66
9	1月28日	長万部(1回目)	201				201	
10	1月28日	余 市	192	1	23	1	217	
11	1月28日	登 別	178	1			179	
12	1月30日	苫 小 牧	66		24	2	92	2
13	1月30日	白 老	153		1		154	
14	1月30日	小 樽 南	164			1	165	3
15	1月31日	当 別			2	2	4	1
16	1月31日	個 人 2	171	1	3		175	
17	2月1日	函 館	510		26	1	537	
18	2月1日	函 館 五 稜 郭	275		6		281	
19	2月1日	函 館 北	109		32	1	142	
20	2月1日	函 館 亀 田	21		20		41	
21	2月1日	札 幌 北	109		32	1	142	
22	2月1日	新 札 幌	138		7	5	150	6
23	2月1日	室 蘭 東	51	18	37		106	2
24	2月1日	苫 小 牧 東	219				219	
25	2月2日	小 樽	245		43		288	切手
26	2月2日	札 幌 南	191	1	40	4	236	32
27	2月2日	妹 背 牛	124				124	
28	2月3日	由 仁	87	26	3		116	
29	2月3日	上 磯	459				459	
30	2月3日	長万部(2回目)	90				90	
31	2月4日	札 幌 東	101		2		103	20
		合 計	5,661	139	525	24	6,349	166



ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記録講演から

「宇宙から見た人類の未来」 畚野信義
2004 10p (D.2650)

「5坪のラーメン屋から上場企業への物語」 神田 正
2004 4p (D.2570)

「エネルギーの窓から」 近藤耕二
2004 12p (D.2670)

「切に生きる」 瀬戸内寂聴 2004 11p (D.2670)

「心の健康とロータリー」 佐藤忠広
2004 11P (D.2540)

「変わる日本」 唐津 一 2004 11P (D.2720)
「最近思うこと」 山東昭子 2004 5P (D.2830)

「日本文化とグローバル化」 河合隼雄
2004 20p (D.2680)

「神奈川からスポーツルネサンスを」 春口 廣
2004 5p (D.2590)

「歴史の使い方～日本の明日を歴史に見る～」 堺屋太一
2004 14p (D.2590)

[上記申込先：ロータリー文庫 コピー]

2005シカゴ大会プロモーション委員会からのお知らせ

2005シカゴ大会プロモーション委員会

国際ロータリー元理事 板橋 敏雄

プロモーション委員会では、全世界のRCの会長・会長エレクトのためのタイムカプセルを用意しておりますので、是非ともクラブ会長・会長エレクト様のご参加を期待いたしております。

そのシカゴ大会の締め切り3月31日が迫って参りますので、各クラブへの参加奨励をガバナーより再度お願い申上げる次第であります。

プロモーション委員会からの速報によりますと、2月10日締めの登録数は、全世界で32,000名その内日本からは、1,660名と成っています。日本の場合、3月31日が勝負の時と存じますので、是非とも各クラブへご要請賜り、出来ましたなら、各クラブの登録数について御掌握頂きたくお願い申し上げます。

登録料は、ロータリアンご夫婦は、お二人でUS \$ 450.00 ロータリアン単身にて、US \$ 275.00 です。登録は、登録用紙にご記入の上、クレジットカード(番号等記入)、現金の場合は日本事務局へ円貨でご送金頂くだけで、簡単に登録できますので、宜しくお願い申し上げます。

(財)ロータリー米山記念奨学会 2005年2月10日発行

ハイライトよねやま 60

1. 寄付金速報 下期寄付情報

1月までの寄付金は、前年同期と比べ3.7%減、約4千万円の減少でした。普通寄付金が3.0%減、特別寄付金が4.1%減です。この現状を少しでも改善するために、今月および来月に寄付金増進タスクフォースが開催されます。寄付金減少の現状と原因を分析し、増進方策と今後の奨学事業について協議する予定です。寄付金・表彰制度に関するご意見などございましたら、事務局までお寄せください。2005年もより一層のご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2. 2005 - 06 年度ガバナー・エレクト/米山奨学委員長合同セミナー開催報告

2月3日、東京・品川の高輪プリンスホテルにて、ガバナー・エレクトと次期米山奨学委員長を対象とした合同セミナーが開催されました。昨年まで、ガバナー・エレクトセミナーは6月下旬の理事会・評議員会終了後に実施していましたが、参加者から「時期が遅い」との声が多く、今年は2月初旬に、初めて米山奨学委員長セミナーと合同で実施することとなりました。



【ガバナー・エレクトセミナー】

4グループに分かれてのグループディスカッションでは、米山奨学事業の目的、選考基準、寄付増進の方策など、多岐にわたるテーマが議論されました。発表では、「本来の米山奨学制度の目的からすると、少数精鋭で優秀な学生を選ぶべきではないか」「一カ国に集中するのではなく、より多くの国の学生を支援するよう配慮が必要」「理解促進のための資料は極力シンプルに」「寄付増進には税制の恩典をもっとアピールする」など、さまざまな意見が述べられましたが、現地募集採用型奨学金については、慎重な意見が目立ちました。

【次期米山奨学委員長セミナー】

3名の米山奨学委員長がパネリストとなって、地区での取り組みや現場の工夫が語られました。

山本和雄氏(2660/大阪なにわRC):「選考と学校訪問について」

地区委員全員での大学訪問、選考方法の改革によって「ロータリアンが本当に応援したい奨学生」の採用を実現した事例紹介。

林 和夫氏(2610/富山みらいRC):「前年度個人平均寄付額アップの工夫」

寄付金データなど米山奨学会から送られる情報を活用した実践的な寄付増進への取り組みを紹介。また、クイズ形式の「米山 x テスト」など独自の工夫も披露。

藤田鋡三氏(2630/岐阜城RC):「奨学生の卓話...反響を生むために」

地区米山奨学委員会で企画した「米山奨学生による二胡コンサート」が大変な人気を博し、卓話の申込みが殺到。ひたむきな姿が感動を呼び、寄付にもつながった理解推進事例を報告。



なお、出席者アンケートでは、ガバナー・エレクト、地区米山奨学委員長ともに、8割近くが「合同開催がよい」との回答でした。本セミナーの報告書は、3月に発行予定です。

3. 米山奨学事業新制度を考える 韓国の大学事情視察訪問記

昨年12月21日、台湾学友会総会出席（ハイライトよねやま59号参照）の帰途を利用し、現在検討中の2006年度制度改編の中でも注目度の高い「現地募集採用型奨学金制度」の調査のために、韓国を訪れました。米山奨学会は、台湾・韓国において、現地の米山奨学会学友会と共同で募集・選考を行い、上級研究者を日本に招聘する「SY-A（Alumni：同窓会）特別米山奨学金プログラム」を実施しています。韓国のSY-Aでは、採用がソウルなど大都市に偏っているといった批判もあり、今回は韓国地方都市の現状を確かめたいと、韓国学友会会長の安^{アン}熙^{ヒドゥ}道^ドさんの協力を得て、江原道・江陵大学を訪問しました。

ソウルから東へ150キロ、非武装地帯をはさんだ北朝鮮に最も近い江陵市は、朝鮮半島の歴史と儒学伝統文化の街、豊かな自然に囲まれた観光地です。また、南北分断が続く中、“漢江の奇跡”の発展に取り残された地域でもあります。国立の総合大学である江陵大学では、一昨年にSY-Aで宮崎大学に留学した陳^{ジン}徳^{トク}姫^ヒ教授（世話クラブ・延岡東RC）の出迎えを受け、日本学科の学生約40人に米山奨学事業と日本の留学事情についての説明を行いました。



韓国・江陵大学での米山奨学事業説明会

「地方大学に日本留学の情報が少ない」「現在の米山奨学制度では、ほとんどチャンスがない」「儒教文化の中心で育ったわれわれに日本で学ぶ夢をかなえて欲しい」と矢継ぎ早に質問が寄せられ、2時間の説明会もあっという間に終わりました。学生の輝く目、真剣な質問、礼儀正しい対応、大学キャンパスで久しく感じなかった学生の魂の躍動感、若者の夢と誇りを身近に感じる感動のひとつでした。

SY-Aで培ったノウハウを生かし、今後、実施が検討される新しい現地募集採用型奨学金制度。それを通じて構築を試みる“知的コラボレーション”のネットワークは、このような日本の大学（鹿児島・新潟・福井県立大学）と連携している海外の地方大学との協働の中で、根付いていくのかもしれませんが。

（事務局長・宮崎幸雄）

4. 被災した母国を支援するために スリランカ出身の米山奨学生・学友が津波復興支援

昨年12月のスマトラ沖地震に伴うインド洋大津波、その甚大な被害に苦しむ母国を支援するために立ち上がった米山奨学生・学友たちがいます。

その中の1人、スリランカ出身の米山学友、ナリン・ラトナヤケさん【2002 - 03年/北海道大学大学院/札幌西北RC】は、札幌の留学生で組織する日本スリランカ交流会の一員として街頭募金に立ち、ラジオ番組で支援を訴えるなど、津波で親を亡くした子どもたちのために活動しています。また、同じくスリランカ出身の米山学友、ナディーカ・エディリシンハさん【2002 - 04年/流通経済大学/龍ヶ崎中央RC】と、現役奨学生、ジャナカ・ジーワナさんは、世話クラブの龍ヶ崎中央RCとともに、母国の支援活動を始めています。

津波被害に関する奨学生・学友の活動情報は、3月初旬に米山奨学会ホームページ（<http://www.rotary-yoneyama.or.jp>）に掲載予定です。

ロータリー米山記念奨学会ホームページでは「ハイライトよねやま」として最新ニュースをお伝えしています。月信等にご活用ください。ガバナー・理事・米山奨学委員長その他希望者にはe-mail等で配信しています。
<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

（財）ロータリー米山記念奨学会編集担当：峯^{みね}・野津^{のづ}・大庭^{おおば}
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc 会館ビル8階
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー				ポール・ハリス・フェロー			
深川 R C	成田 昭彦	会員	12月24日	栗沢 R C	黄瀬 和弘	会員	12月24日
栗沢 R C	小山 利雄	会員	12月24日	栗沢 R C	本庄 昭良	会員	12月24日
栗沢 R C	鈴木 正夫	会員	12月24日	栗沢 R C	石川 哲博	会員	12月24日
留萌 R C	中川 勝美	会員	12月24日	留萌 R C	明澤 正樹	会員	12月24日
留萌 R C	清水 陞	会員	12月24日	札幌東 R C	福澤 勝守	会員	12月24日
札幌東 R C	松宮 國彦	会員	12月24日	札幌西北 R C	鈴木 伸哉	会員	12月24日
札幌東 R C	須田 幸男	会員	12月24日	砂川 R C	藤田 諄	会員	12月17日
滝川 R C	川口 義弘	会員	12月24日	滝川 R C	深澤 和範	会員	12月24日
滝川 R C	中垣 陽一	会員	12月24日	滝川 R C	松橋 和博	会員	12月24日
滝川 R C	佐藤 佳朗	会員	12月24日	札幌幌南 R C	鎌田 洋	会員	12月31日
滝川 R C	鈴木 忠雄	会員	12月24日	札幌幌南 R C	福田 洋	会員	12月31日
滝川 R C	中島 誠一	会員	12月24日	札幌幌南 R C	五十嵐政三	会員	12月31日
滝川 R C	中島 健	会員	12月24日	札幌幌南 R C	熊坂 峻	会員	12月31日
滝川 R C	山根 英治	会員	12月24日	札幌幌南 R C	高橋 一雄	会員	12月31日
札幌幌南 R C	板橋 俊	会員	12月31日	芦別 R C	石岡 雅	会員	1月21日
札幌幌南 R C	土谷サトル	会員	12月31日	芦別 R C	大西 武一	会員	1月21日
札幌幌南 R C	中島 勉	会員	12月31日	芦別 R C	中本 良吉	会員	1月21日
				伊達 R C	荻野 秀二	会員	1月21日
				伊達 R C	辻田 郁哉	会員	1月21日
				栗山 R C	太田ヒロコ	会員	1月28日
				栗山 R C	関 吉一郎	会員	1月28日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者				米山功労クラブ			
美唄 R C	城野 裕好	会員	1月31日	新札幌 R C	中西 泰司	会員	1月31日
函館東 R C	菅原 徳夫	会員	1月18日 (8)	苫小牧 R C	圓谷 敏彦	会員	1月27日 (2)
函館東 R C	矢島 千穂	会員	1月25日 (3)	苫小牧東 R C	松原 寛	会員	1月31日
札幌東 R C	平 良一	会員	1月31日	苫小牧北 R C	伊藤 竹雄	会員	1月27日 (2)
札幌北 R C	深浦 信吾	会員	1月11日				
新札幌 R C	伊藤 豊	会員	1月31日	札幌 R C			1月13日
				札幌東 R C			1月31日

ガバナー事務所からのお願い

クラブの出席報告は、毎月の最終例会から15日以内にお願ひ致します。(FAXもしくはE-mail)

変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日をお知らせ下さい。また会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告願ひます。

クラブの移動例会等は地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡下さい。

各月ごとのクラブ会報を当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

ガバナー月信へ原稿をお寄せ下さい。特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1~2枚をご同封願ひればと考えています。原稿締切り日は毎月10日を予定しています。

1月会員増減数・出席率報告



グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			04.7.1	05.1.31	増減内	内女性	
1	深 川	3	40	40	0	1	85.59
	羽 幌	4	47	47	0	1	83.20
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	72.50
	小 平	4	14	14	0	0	71.43
	留 萌	3	59	54	- 5	0	90.52
小 計			170	165	- 5	2	80.65
2	赤 平	4	34	32	- 2	2	90.91
	芦 別	4	54	50	- 4	0	82.38
	砂 川	4	54	52	- 2	0	92.04
	滝 川	4	109	111	2	2	72.00
小 計			251	245	- 6	4	84.33
3	美 唄	4	42	43	1	0	89.47
	江 別	3	43	40	- 3	1	86.72
	江 別 西	3	37	36	- 1	3	87.96
	岩 見 沢	4	94	96	2	0	90.57
	岩 見 沢 東	3	37	39	2	3	83.80
	栗 沢	3	26	25	- 1	1	88.00
	栗 山	4	29	30	1	2	90.30
	当 別	4	38	38	0	1	84.21
	小 計			346	347	1	11
4	札 幌	3	123	130	7	0	98.23
	札幌あけぼの	4	16	16	0	1	100.00
	札幌はまなす	3	24	23	- 1	4	84.85
	札 幌 北	4	49	46	- 3	5	89.53
	札幌モーニング	4	54	56	2	0	71.29
	札 幌 西	3	69	73	4	3	91.14
	札 幌 西 北	4	48	50	2	2	92.19
	札 幌 手 稲	4	39	42	3	1	100.00
	小 計			422	436	14	16
5	札 幌 東	4	125	125	0	0	97.64
	札 幌 清 田	3	26	28	2	6	100.00
	札 幌 幌 南	3	69	71	2	0	100.00
	札幌真駒内	4	44	45	1	2	89.04
	札 幌 南	3	91	96	5	0	98.75
	札幌大通公園	3	19	20	1	4	76.66
	札幌セントラル	3	19	16	- 3	4	86.30
	新 札 幌	4	36	33	- 3	1	86.02
	小 計			429	434	5	17
6	岩 内	4	33	33	0	0	78.70
	倶 知 安	3	54	54	0	3	70.00
	小 樽	3	74	76	2	0	84.29
	小 樽 南	4	86	84	- 2	0	83.65
	小 樽 銭 函	3	23	25	2	3	88.00
	蘭 越	3	14	13	- 1	0	78.50
	余 市	3	43	43	0	4	90.00
小 計			327	328	1	10	81.88

クラブ数 72クラブ
 期首会員数 3,136人
 当月末会員数(女性) 3,144(89)人
 増加会員数 8人
 当月平均出席率 83.88%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			04.7.1	05.1.31	増減内	内女性	
7	千 歳	4	65	63	- 2	2	75.30
	千歳セントラル	3	30	29	- 1	0	85.10
	恵 庭	3	51	51	0	0	77.80
	北 広 島	3	19	19	0	2	84.32
	長 沼	3	18	18	0	3	88.90
	由 仁	4	15	15	0	0	90.00
	小 計			198	195	- 3	7
8	え り も	4	24	23	- 1	0	90.22
	三 石	3	17	17	0	1	88.20
	様 似	3	19	18	- 1	1	67.54
	静 内	3	67	70	3	0	84.90
	浦 河	3	40	40	0	1	78.33
	小 計			167	168	1	3
9	伊 達	3	56	58	2	0	79.31
	室 蘭	4	51	53	2	0	81.73
	室 蘭 東	4	43	43	0	0	91.87
	室 蘭 北	3	37	37	0	2	100.00
	登 別	3	39	40	1	2	82.50
	洞 爺 湖	4	10	9	- 1	0	88.90
	小 計			236	240	4	4
10	函 館	4	101	100	- 1	0	79.94
	函 館 亀 田	3	42	48	6	1	79.86
	森	3	43	43	0	0	68.00
	七 飯	3	24	24	0	0	79.10
	長 万 部	3	13	13	0	0	76.90
小 計			223	228	5	1	76.76
11	江 差	4	16	17	1	0	76.70
	函館五稜郭	4	68	64	- 4	0	90.32
	函 館 東	3	50	46	- 4	7	80.74
	函 館 北	4	37	37	0	0	77.86
	上 磯	4	29	29	0	3	65.60
	松 前	4	9	9	0	1	66.67
小 計			209	202	- 7	11	76.32
12	白 老	3	29	26	- 3	0	78.00
	苫 小 牧	3	56	59	3	0	76.81
	苫 小 牧 東	3	32	32	0	3	89.58
	苫 小 牧 北	3	41	39	- 2	2	89.47
	小 計			158	156	- 2	5
合 計			3,136	3,144	8	89	83.88

掲 示 板

例会の変更について

栗山 R C

- 3月1日(火) 月間テーマにちなんで(通常例会)
3月8日(火) 夜間例会、磯野会員指導による
会員有志の「そば打ち」試食会
18:00～ 於:パラダイスヒルズ
3月15日(火) 会員卓話(通常例会)
土谷ガバナー補佐卓話
3月19日(土) R I 100周年にちなんで
栗山近隣在住の外国の人々との食事懇談
会 18:00～ 於:パラダイスヒルズ
22日の例会を19日に繰り上げて22日
は休会
3月29日(火) 特別休会

苫小牧東 R C

- 3月10日(木) 夜間移動例会 18:00～ 於:「鳥亭」
3月31日(木) 休会日変更・4月7日に変更
4月1日(金) 例会日変更 3月31日(木)の例会変更
～苫小牧 R C と合同例会～
12:30～ 於:グランドホテルニュー王子
4月7日(木) 休会・3月31日振替分

当別 R C

- 3月22日(火) 休会*
3月29日(火) 夜間例会 「新入会員歓迎会」
18:00～ 於:田西会館

室蘭東 R C

- 3月23日(水) 夜間例会 18:30～ 於:芝楽寿司
3月30日(水) 休会

注)*定款第5条第1節に基づく休会

ガバナー 2月号の記載について

p11 「ガバナー補佐会議報告、第3グループガバナー
補佐活動報告書・計画書」中の栗山 R C、創立
35周年記念式典について、当方の手違いにより
平成17年5月20日と掲載しましたが、正しくは
平成17年5月21日(土)です。お詫びして訂正致
します。

ガバナー事務所からのお知らせ

勝手ながら3月4日(金)は事務所を休みとさせていただきます。よろしく願い致します。

新入会員のご紹介



今井 章夫
千歳セントラル R C
1月11日入会



支部 英孝
江別西 R C
1月11日入会



小西 昌洋
岩見沢 R C
1月14日入会

3月・4月 地区カレンダー

3 月 世界ローターアクト週間(3/13を含む1週間)		4 月 ロータリー雑誌月間	
1(火)		1(金)	
2(水)		2(土)	
3(木)		3(日)	
4(金)		4(月)	
5(土)		5(火)	
6(日)	地区研修セミナー(ロイヤルホテル)	6(水)	
7(月)		7(木)	
8(火)		8(金)	
9(水)		9(土)	
10(木)		10(日)	地区協議会(札幌パークホテル)
11(金)		11(月)	
12(土)	函館五稜郭35周年記念式典(函館ロイヤル)	12(火)	
13(日)		13(水)	
14(月)		14(木)	
15(火)		15(金)	
16(水)		16(土)	
17(木)		17(日)	
18(金)		18(月)	
19(土)		19(火)	
20(日)	春分の日	20(水)	
21(月)		21(木)	
22(火)		22(金)	
23(水)		23(土)	
24(木)	恵庭RC35周年記念式典(恵庭市民会館)	24(日)	
25(金)		25(月)	
26(土)	財団米山セミナー(ロイヤルホテル)	26(火)	
27(日)	会長エレクト研修セミナー(ロイヤルホテル)	27(水)	
28(月)		28(木)	
29(火)		29(金)	みどりの日
30(水)		30(土)	
31(木)			



ROTARY

Vocational Service
100 Years

www.rotary.info



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL
2004-2005
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER